



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU
魚津ロータリークラブ 会報誌
2008 - 2009 年度 RI 会長 李 東建 (リ トンカン)
魚津 R.C 会長 大村 雅紹

第 2671 回 例会報告

2009 年 3 月 12 日

5 ロータリークラブ合同例会

於 滑川市民交流プラザ

参加クラブ 魚津、魚津西、黒部、黒部中央、滑川(ホストクラブ)

- ゲスト紹介** 特別参加者 中屋 一博 様(滑川市長)
近藤 俊行 様(パストガバナー) 根岸 朗 様(ガバナー補佐)
- 会長挨拶** 高緑会長 (滑川 R C)



皆さんこんにちは。今日は、滑川市へようこそお出で下さいました。本日は滑川市の中屋市長をお迎えしての5ロータリークラブ合同の例会です。滑川 R C がホストを努めます。今日はよろしくお願ひします。

幹事報告 なし **委員会報告** なし

出席報告 第 2671 回 出席者：23 名 出席率：67.64% メイキャップ済：6 名
第 2669 回 メイキャップ：なし 出席率：91.17% 変わらず

ニコニコボックス 近藤パストガバナー

本日の卓話 中屋 一博 様 ……【滑川市の町づくり】



タイトルについて何でも良いとの話がありましたが、何が良いか職員に相談しました。子作りが終わったら、街づくり、人作りとなった。人作りの原点となるのが町づくりであろう。…とすることで「滑川市の町づくり」とさせて頂きました。

自治と言うのは一番の最小単位は家族であるが、徐々に、地区、町に広がっていくが自治であろうと思う。原点にあるのは話し合いである。縄文時代は何で意志を確認していたのか、何か信号を送っていたのであろう。

我々は自治と政治をまたにかけているが、どの自治体も横並びではいけない。それぞれの資源、歴史、文化の活用である。この市民プラザは17億かけているが、ここの社長は市長である。展望台から望む山、海はすばらしい。特に剣の存在は大きい。1500年も前に大伴家持は、越中はすばらしいと言っている。400もの歌が越中にあり立山連峰、早月も読んでいる。



富山県人の誇りや眠っているものがいろいろある。それを掘り起こすのが街づくりである。「ホタルイカ」の名前は明治38年頃に付いた。明治42年に船から見ようということで今の観光遊覧船に至っている。昭和9年にNHKの実況中継をするときも魚津での予定が滑川に変わった。昭和10年には、皇族の方々もいらしている。それから「ホタルイカ」と「シンキロウ」を棲み分けした。大人の世界である。これで、「ホタルイカ」の本家は滑川だと言う事が分るでしょう。

故郷の歴史を語れないと先を見る事が出来ない。1682年(元禄2年)に松尾芭蕉が滑川に泊まっている。そう随行日記?に書いてある。7月13日朝に市振を出て越中に入り泊、入善、に至り黒部川を馬で越えているサルの下刻に滑川に至るとある。その後、俱利伽羅から金沢へ行っている。滑川の何処に止まったかは定かでない。1186年、京都八坂神社に、酒肴、年貢代と言うことで越中の滑川の名前が出ている。900~1000年前である。故郷に誇りと興味を持つことが発展につながる。

滑川市は3万4千人市民であるが、行政は等しく、公平で、公正で、透明性のあることが必要である。財は有限、欲は無限である。昭和20年代地域の連携があったが、昭和35年の池田内閣の所得倍増計画から言いたい放題となる。自助努力、隣近所が助け合う必要がある。役所もこれから限られた財源しかない、収支を意識する必要があり、自助努力との境界がはっきりしてきた。

今日はようこそ滑川へ来て頂きました。ありがとうございました。

懇親会風



【以上】